

彩の国で魅せよう多彩なプレー！ 深めよう絆を！

第52回全国ろうあ者体育大会in埼玉



とき 2018年9月20日(木)～9月23日(日)

主催:一般財団法人 全日本ろうあ連盟 主管:一般社団法人埼玉県聴覚障害者協会・第52回全国ろうあ者体育大会実行委員会
〒330-0046 埼玉県さいたま市浦和区大原3-10-1埼玉県障害者交流センター内 ☎ 048-826-6122(専用) 📠 048-825-0774

今年の全国ろうあ者体育大会
(9月20日～23日)は埼玉です！



大会実行委員長の挨拶

第52回全国ろうあ者体育大会実行委員長の小出真一郎です。

吹く風にも初夏の爽やかさを感じるこの頃、さまざまなスポーツがシーズンに入ります。今年の全国ろうあ者体育大会会場は埼玉県、お勧めの観光地もたくさんあります。小江戸川越での散策や長瀬ライン下りはいかがでしょう。

大阪で開催される第57回全国ろうあ者大会には、多くの参加者が集結することと思います。そのあと、9月19日から22日までは埼玉で第52回全国ろうあ者体育大会が開かれます。多くの選手そして応援の皆さまをお迎えするため、現在着々と準備が進んでおります。

埼玉では手話言語条例が制定され、デフリンピックも支援していこうとしています。2020年東京オリンピック・パラリンピックも見据え、多くの方に障害者スポーツを知っていただける機会にしたいと思っています。今回は、10種目の正式競技の他に、フットサルがオープン競技として加わりました。競技会場は県内8カ所、それぞれの地域の支援を仰ぎ、聴者の学生の協力も得て、開催いたします。

笑顔でお会いする日を楽しみに、皆さまのお越しをお待ちしております。



埼玉の観光スポット★川越編★

江戸時代の面影が色濃く残る「小江戸川越」

蔵造りの町並み

駅周辺からクレアモール・大正浪漫夢通りを抜けると、そこは他を圧倒するほどの重要建造物のオンパレード。ここの魅力は何ととっても蔵づくり・時の鐘を代表とする歴史的建物群とそれらが醸し出す風情です。小江戸川越を初めて歩くならここは外せないエリアです。明治時代の川越大火にも耐え、防火性を見直された土蔵づくり、重厚な開き扉や堅牢な瓦屋根にそれを店蔵に取り入れた小江戸商人の心意気が感じられます。古き良き物を大切に共生しようとした人々によって守られ、魅力的な店舗が軒を連ねます。 ” ちょっとお土産を ” といった時間もつい長めになりがち。



昔懐かしい菓子屋横丁

時の鐘の北西、元町2丁目7番付近。明治初期からその歴史を刻む”菓子屋横丁”では昔なつかしい駄菓子屋が並び、ノスタルジックな時の流れと人情が今でも多くの人を集めています。平成13年環境省主催の「かおり風景百選」に選定されました。月曜日定休の店が多いのでご注意ください。



時の鐘

蔵づくりの街並みを散策し、ふと路地を見上げるとそこには川越のシンボル”時の鐘”が…。時間に正確だった藩主によって設けられたとされていますが、100年以上経った今もなお市民に時を告げています。ちょっと小路に入れば、活気のある商空間とは違う静かな暮らしの小風景や清閑な雰囲気寺院などに趣を感じるでしょう。

現在、1日に4回（午前6時・正午・午後3時・午後6時）、蔵造りの町並みに鐘の音を響かせています。

平成8年に、時の鐘は環境庁主催の「残したい“日本の音風景100選”」に選ばれました。



喜多院

徳川家とゆかりの深いお寺で、江戸城から移築された”家光誕生の間”や”春日の局化粧の間”を見ることができ、家康の遺骸を日光に運ぶ途中に喜多院で法要を行ったことから、日本三大東照宮のひとつである仙波東照宮も建てられています。

また一郭に設けられた五百羅漢はユーモアあふれる表情で訪れる人々をなごませてくれます。

